

# 認知症ケア論

単位数（時間数）：1 単位（15 時間） 必修/選択：選択 履修年次：4 年次 開講時期：前期

科目責任者（職位・氏名）：教授・吹田夕起子

科目担当者（職位・氏名）：

---

対応DP：基礎力をもった社会人 ケア・スピリット 看護専門職者としての基本姿勢  
看護の基礎的・専門的知識・技術 社会への関心と地域貢献 生涯学習・自己研鑽

科目記号：99

## ■ 授業概要

認知症者および介護家族へのケアおよび保健医療福祉サービスについての今日的課題について理解を深め、より良い認知症ケアおよび認知症者を支える共生社会構築への姿勢を修得するよう教授する。今日的課題として、認知症の理解、偏見、人権尊重、個別性を尊重したケア、介護家族へのケアの在り方などについて教授する。

## ■ 到達目標

1. 認知症の主な原因疾患と特徴的な症状について説明できる。
2. 認知症者・家族の心理を理解し適切なケアについて考えることができる。
3. 認知症者の生活を整える援助方法について説明できる。
4. 認知症者の介護家族へのケアと保健医療福祉サービスについて説明できる。
5. 認知症者の人権と権利擁護について説明できる。
6. 認知症を取り巻く制度を理解し目指すべき社会の在り方を考えることができる。

## ■ 教育内容

看護の統合と実践

## ■ キーワード

認知症、診断と治療、症状と看護、予防、人権と権利擁護、家族支援、共生社会

## ■ 授業計画（授業項目、授業内容・授業方法、担当教員）

回	授業項目	授業内容・授業方法	担当
1	認知症対策の現状と共生社会	認知症の疫学、認知症を取り巻く制度・対策（講義）	吹田
2	認知症者と家族の理解	認知症者と家族の心理、パーソン・センタード・ケア（講義）	吹田
3	認知症の病態と治療	認知症の種類と特徴、認知機能の評価、薬物療法、非薬物療法、認知症予防（講義）	吹田
4	認知症の症状と看護①	認知症の生活障害に対するケア（講義）	吹田
5	認知症の症状と看護②	認知症の行動・心理症状（BPSD）に対するケア（講義）	吹田
6	認知症者の環境調整	認知症者の療養・環境づくり、急性期医療における療養環境の調整（講義）	吹田
7	認知症者の家族への支援	認知症者の介護家族へのケアとサポートシステム（講義）	吹田
8	認知症者の人権と権利擁護	認知症者の権利擁護、事例検討（講義・演習）	吹田

## ■ 履修条件

特になし

## ■ 成績評価方法

試験 80%、課題レポート 20%

## ■ 課題（試験やレポート等）に対するフィードバック方法

授業に関する質問については速やかに授業中にフィードバックする。また、課題については、授業中または課題提出後にフィードバックする。

## ■ 教科書

- ・『デジタル ナーシング・グラフィカ』メディカ出版  
老年看護学② 高齢者看護の実践

## ■ 参考書・参考資料等

- ・中島紀恵子責任編集（2024）『認知症の人びとの看護 第4版』医歯薬出版

## ■ 準備学修に必要な時間及び具体的な学修内容

- ・授業 1 コマにつき、事前・事後学修としてそれぞれ 90 分程度必要とする。
- ・課題レポートについては、要求されている課題について自己学修し、指定された日までに提出すること。

## ■ 担当教員からのメッセージ

認知症ケアについて包括的に理解し、認知症者と介護家族を支える今後の社会の在り方を考えていく重要性を学びます。

## ■ 研究室、連絡先、オフィスアワー

研究室 7、suita★iwate-uhms.ac.jp、個別にアポイントメントをとってください。

（※メールの際は★を@にしてください）

■ 担当教員の実務経験の有無

有

■ 担当教員の実務経験

看護師

■ 教員以外で指導に関わる実務経験者の有無

無

■ 教員以外で指導に関わる実務経験者

■ 実務経験を活かした教育内容

医療機関等での看護実践の中から具体的例を用いて説明します。